【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第２部門第４区分
【発行日】令和6年10月3日(2024.10.3)

【国際公開番号】WO2024/075529
【出願番号】特願2024-507129(P2024-507129)
【国際特許分類】
B32B 27/40(2006.01)
B32B 29/00(2006.01)
B32B 27/10(2006.01)
C08G 18/42(2006.01)
C08G 18/46(2006.01)
B65D 65/40(2006.01)
【FI】
B32B 27/40
B32B 29/00
B32B 27/10
C08G 18/42 008
C08G 18/46 015
B65D 65/40 D

【手続補正書】
【提出日】令和6年2月6日(2024.2.6)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
紙基材と、上記紙基材上に配置されたガスバリアコート層とを含み、
上記ガスバリアコート層が、オルト配向性芳香族多価カルボン酸を含む多価カルボン酸と、多価アルコールとを重縮合して得られるポリエステルポリオール（Ａ１）、イソシアヌル環を有するポリエステルポリオール（Ａ２）、重合性炭素－炭素二重結合を有するポリエステルポリオール（Ａ３）から選ばれる少なくとも一種を含むポリエステルポリオール（Ａ）と、イソシアネート化合物（Ｂ）と、有機溶剤（Ｃ）と、乾燥助剤（Ｄ）とを含む２液硬化型コーティング剤の硬化塗膜であることを特徴とする積層体。
【請求項２】
紙基材と、ヒートシールフィルムと、上記紙基材の上記ヒートシールフィルム側の面に配置されたガスバリアコート層と、上記ガスバリアコート層と上記ヒートシールフィルムとの間に配置された接着層とを含み、
上記ガスバリアコート層が、オルト配向性芳香族多価カルボン酸を含む多価カルボン酸と、多価アルコールとを重縮合して得られるポリエステルポリオール（Ａ１）、イソシアヌル環を有するポリエステルポリオール（Ａ２）、重合性炭素－炭素二重結合を有するポリエステルポリオール（Ａ３）から選ばれる少なくとも一種を含むポリエステルポリオール（Ａ）と、イソシアネート化合物（Ｂ）と、有機溶剤（Ｃ）と、乾燥助剤（Ｄ）とを含む２液硬化型コーティング剤の硬化塗膜であることを特徴とする積層体。
【請求項３】
紙基材と、ヒートシール剤の乾燥塗膜であるヒートシール層と、ガスバリアコート層とを含み、

上記ガスバリアコート層が、オルト配向性芳香族多価カルボン酸を含む多価カルボン酸と、多価アルコールとを重縮合して得られるポリエステルポリオール（Ａ１）、イソシアヌル環を有するポリエステルポリオール（Ａ２）、重合性炭素－炭素二重結合を有するポリエステルポリオール（Ａ３）から選ばれる少なくとも一種を含むポリエステルポリオール（Ａ）と、イソシアネート化合物（Ｂ）と、有機溶剤（Ｃ）と、乾燥助剤（Ｄ）とを含む２液硬化型コーティング剤の硬化塗膜であることを特徴とする積層体。

【請求項４】

前記乾燥助剤（Ｄ）が水酸基を有する、請求項１～３のいずれか一項に記載の積層体。

【請求項５】

請求項１～３のいずれか一項に記載の積層体からなる紙包装材。